

図1 マグロ類に使われる代表的な標識

通常標識

(スパゲッティ型標識、ダート型標識とも呼ばれる)



記録型標識 (腹腔埋め込み型)



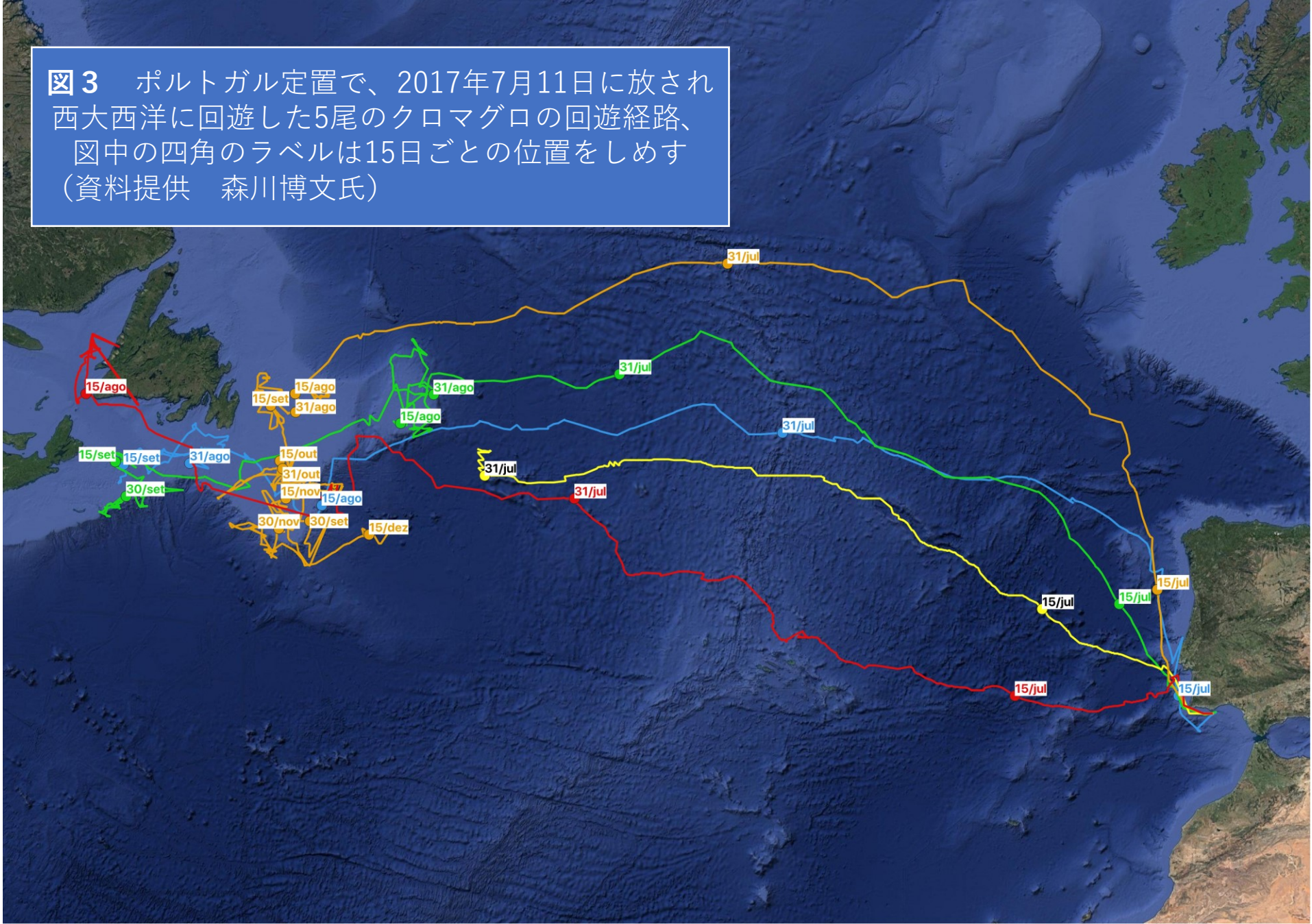
記録型標識 (ポップアップ式衛星通信型タグ)





図2 ポルトガル定置における衛星経由で情報を取る最新型小型ポップアップ式標識（E-tagの一種）の船上引き上げ時の装着模様、両手で持っているのは標識をアンカーで固定するためのドライバー、その先にあるのが標識で、指定の時間が経過後切り離され海面に浮上して先端の短いアンテナから情報が衛星経由で送信される

図3 ポルトガル定置で、2017年7月11日に放され西大西洋に回遊した5尾のクロマグロの回遊経路、
図中の四角のラベルは15日ごとの位置をしめす
(資料提供 森川博文氏)



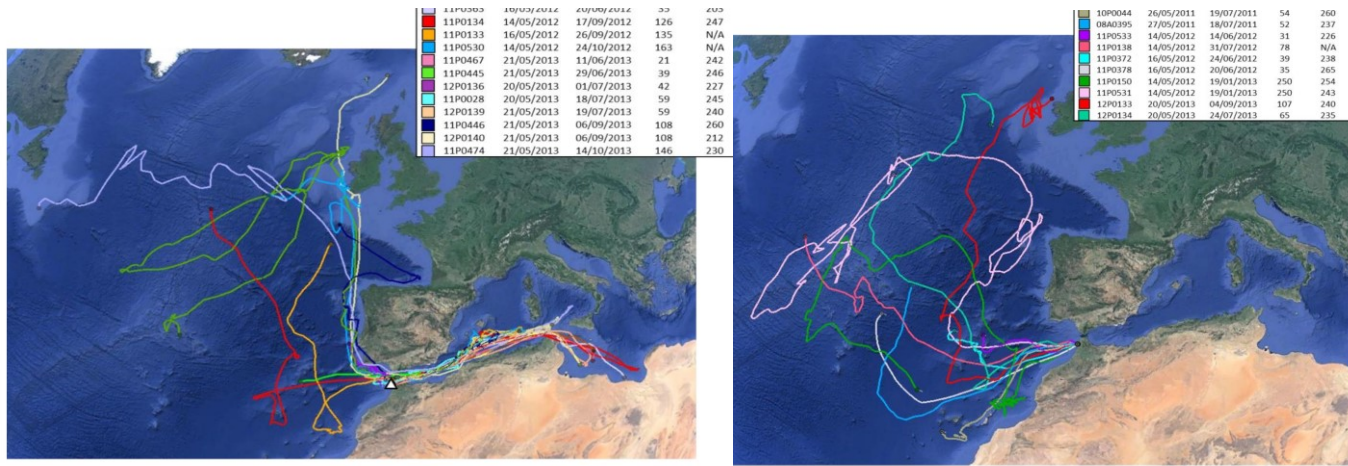


図4 モロッコの定置（左図の白の△印）から2011-2013年の5月下旬にE-tagで放流されたクロマグロで、地中海に産卵のために入った17個体の回遊経路（左図）と入らなかった11個体の回遊経路（右図）
 ICCAT/SCRS資料